

めざす姿

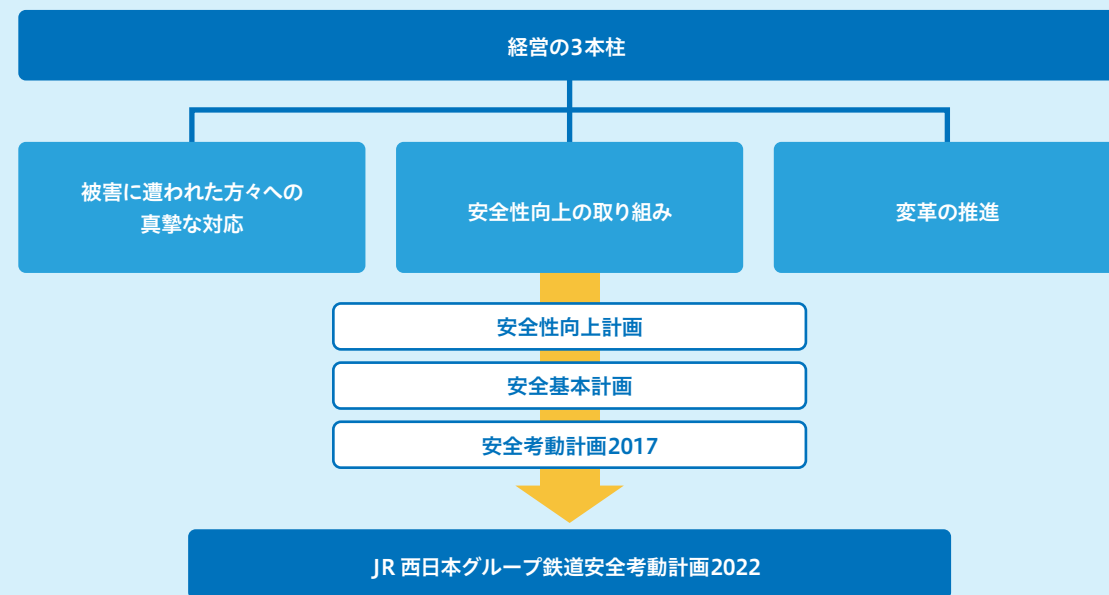
大切にする価値観

私たちの変わらぬ決意

～福知山線列車事故のような事故を二度と発生させない～

鉄道を基幹事業とする当社グループにとって、「安全」はあらゆるサービス、商品の根幹です。事故発生リスクを予見できず、2005年4月25日に福知山線列車事故という極めて重大な事故を惹き起こした責任の重さを、痛切に感じています。

「福知山線列車事故のような事故を二度と発生させない」。これは、当社グループのすべての思考、行動の原点であり、変わらぬ決意です。事故の反省と教訓を重く受け止め、今後とも、経営の3本柱である「被害に遭われた方々への真摯な対応」「安全性向上の取り組み」「変革の推進」を最重要課題として取り組んでいきます。



「企業理念」「安全憲章」で

私たちが決意し、お誓いしたこと

「企業理念」は、福知山線列車事故を機に、安全を最優先する企業風土を構築するため、私たちの目指すべき方向性、大切にすべき価値観などについて全社員で議論を重ね、制定したものです。

併せてこの時、社員一人ひとりが、日常の場において安全を最優先するという価値観に基づく具体的な行動を自然に起こせるよう、安全に関する行動指針である「安全憲章」についても、見直しを行いました。

「企業理念」「安全憲章」は、「安全を最優先する企業となる」「重大な事故を二度と発生させない」という私たちの決意であるとともに、社会の皆様に対するお誓いでもあります。

JR西日本 企業理念

1. 私たちは、お客様のかけがえない尊い命をお預かりしている責任を自覚し、安全第一を積み重ね、お客様から安心、信頼していただける鉄道を築き上げます。
2. 私たちは、鉄道事業を核に、お客様の暮らしをサポートし、将来にわたり持続的な発展を図ることにより、お客様、株主、社員とその家族の期待に応えます。
3. 私たちは、お客様との出会いを大切に、お客様の視点で考え、お客様に満足いただける快適なサービスを提供します。
4. 私たちは、グループ会社とともに、日々の研鑽により技術・技能を高め、常に品質の向上を図ります。
5. 私たちは、相互に理解を深めるとともに、一人ひとりを尊重し、働きがいと誇りの持てる企業づくりを進めます。
6. 私たちは、法令の精神に則り、誠実かつ公正に行動するとともに、企業倫理の向上に努めることにより、地域、社会から信頼される企業となることを目指します。

安全憲章

私たちは、2005年4月25日に発生させた列車事故を決して忘れず、お客様のかけがえない尊い命をお預かりしている責任を自覚し、安全の確保こそ最大の使命であるとの決意のもと、安全憲章を定めます。

1. 安全の確保は、規程の理解と遵守、執務の厳正および技術・技能の向上にはじまり、不断の努力によって築きあげられる。
2. 安全の確保に最も大切な行動は、基本動作の実行、確認の励行および連絡の徹底である。
3. 安全の確保のためには、組織や職責をこえて一致協力しなければならない。
4. 判断に迷ったときは、最も安全と認められる行動をとらなければならない。
5. 事故が発生した場合には、併発事故の阻止とお客様の救護がすべてに優先する。

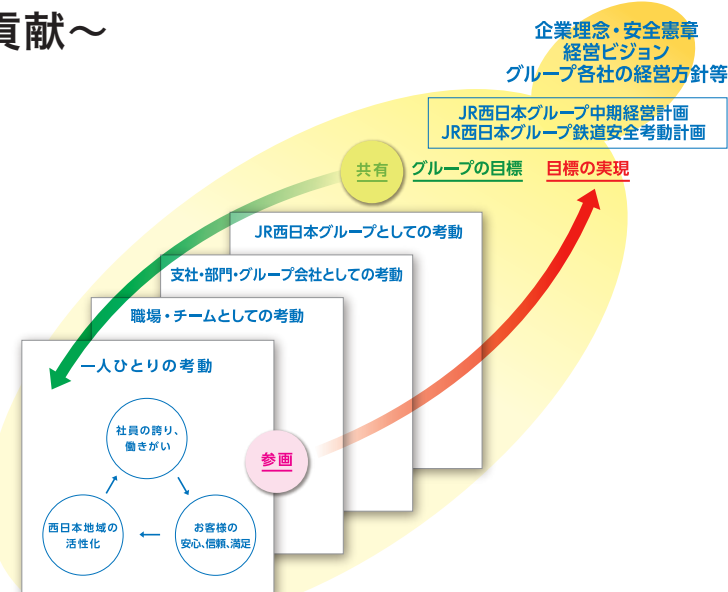
一人ひとりの考動で実現していく企業理念

～サステナブルな社会づくりへの貢献～

「企業理念」は、福知山線列車事故を反省し、「当社の存在意義」「社会から求められているもの」「そのためにしなければならないこと」を議論し、作り上げたものです。その実現に向けて取り組むことは、社会の一員としての責任を果たすことにほかならず、サステナブルな社会づくりにも貢献するものです。

「企業理念」の実現に向けて、主役である社員一人ひとりが、自らの「仕事の意義（「何のために」「何を為すか）」を認識した上で、「考動（自ら考え、行動）」を積み重ね、ステークホルダーや社会の皆様へ提供する価値を高めていく。それはまた、社員一人ひとりの働きがいと誇りにつながっていく。

この好循環の創出を目指し、取り組んでいます。



サステナビリティ推進体制

CSR推進委員会を開催し、関係役員間で進捗確認や課題に対する議論を行っています。

CSR推進委員会は、社外からの評価や社員からの声、目標（KPIなど）への到達度などの観点から俯瞰的に総合評価を行い、各分野委員会などへ必要なフィードバックを行っています。重点8分野は各主体部署においてPDCAを推進しています。

また、各分野の取り組み状況などについて、取締役会に付議・報告しています。

なお、安全は事業の根幹をなす最重要課題として、別格で位置づけています。

